



飛驒匠のDNAを受け継ぐものづくりのまち

メイド・バイ飛驒高山認証

市では、飛驒高山ブランドコンセプトに合う独自性と信頼性の高い地場産品を「メイド・バイ飛驒高山認証産品」として認証しています。ものづくりの匠たちの熱い思いに触れてください。

No. 24

飛驒の豆板

高山菓子組合



雪深く、寒さ厳しい飛驒の冬。そんな土地柄もあり、古くから口持ちして腹持ちのよい駄菓子が好まれてきました。飛驒の豆板はその一つ。落花生を糖蜜（水飴と砂糖を混ぜ合わせたもの）で絡めた素朴な駄菓子です。

他の地域にも豆板と呼ばれる駄菓子はありますが、飛驒の豆板は「豆が主役」。たっぷりのに糖蜜が薄く絡まり、サクツとした食感になるのが特徴です。添加物を一切使っていないため、素材の味が口いっぱいに広がります。

今も職人が手作りしているという豆板。気温や気候に合わせて水飴の火入れを加減し、独特の歯触りを生み出します。火を入れすぎれば硬くなりすぎ、足りなければ歯にくっついてしまう。その見極めはまさに職人技です。



素材の味 飛驒の味



▲水飴を使用しているが、歯につかずサクツと噛める。

「今は落花生を使っていますが、昔は痩せた土地でも育つ大豆を使っていたんですよ。この話するのは飛驒菓子匠音羽屋の木村明子さん。昔の味をなくしたくないと、落花生の豆板に加え、大豆の豆板の製造も続けています。」

「昔ながらの大切なお菓子です。食べられなくなれば廃ってしまいますから、地域の皆さんに食べてもらえようになりたいです」。真剣な眼差しで、豆板の将来を案じる木村さん。通販サイトの立ち上げや、食品ロス削減などに取り組み、「ふるさとの味」を守り続けていきます。

市長室へ ようこそ

●市民と市長の面談日

2月21日(月) 13:30~16:15

*事前にご予約ください

*新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止する場合がありますのでご了承ください。

市長室直通FAXもご利用ください FAX●36-2060

問合せ 秘書課 ☎35-3130



「飛驒高山暮らし案内人」募集中!

移住を考えている人たちに高山の魅力を伝えたり、移住者の相談にのったりする「飛驒高山暮らし案内人(移住コーディネーター)」を募集します。

申込み 2月28日(月)までに、申込書を窓口・郵送・FAX・MAIL
*申込書は飛驒高山移住定住サポートセンター(本庁2階)と市HPにあります。

*応募の条件など、詳しくはお問い合わせいただくか、市HP(広報ID1015214)をご確認ください。

問合せ 飛驒高山移住定住サポートセンター ☎35-3001

義援金の募金箱を設置しています

市では、被災された方を支援するために、インフォメーション(本庁1階)と各支所地域振興課に義援金箱を設置しています。

集まった義援金は、日本赤十字社岐阜県支部を通じて被災された方々に届けられます。

義援金名称	募金箱設置期間
令和2年7月豪雨災害義援金 (福岡県、熊本県)	3月31日(木)まで
令和3年8月大雨災害義援金 (福岡県、佐賀県)	
令和3年長野県茅野市土石流 災害義援金(長野県)	

*配分先は変更される場合があります。

問合せ 日本赤十字社高山市地区事務局(福祉課内) ☎35-3356

編集・発行/高山市企画部広報公聴課

〒506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地

TEL/0577-32-3333(代)

FAX/0577-32-7000 (市長室直通)

FAX/0577-35-3174 (広報公聴課直通)

E-mail/kouhou@city.takayama.lg.jp

HP/https://www.city.takayama.lg.jp/

携帯用HP/http://mobile.city.takayama.lg.jp/

防災行政無線の内容は電話でも確認できます

☎0180-995-690



QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

